

役に立つくすりのはなし



山陰労災病院 薬剤部

小林 愛弓

本日の内容

- ・ ジェネリック医薬品について
- ・ おくすり手帳について
- ・ 薬の飲み合わせについて

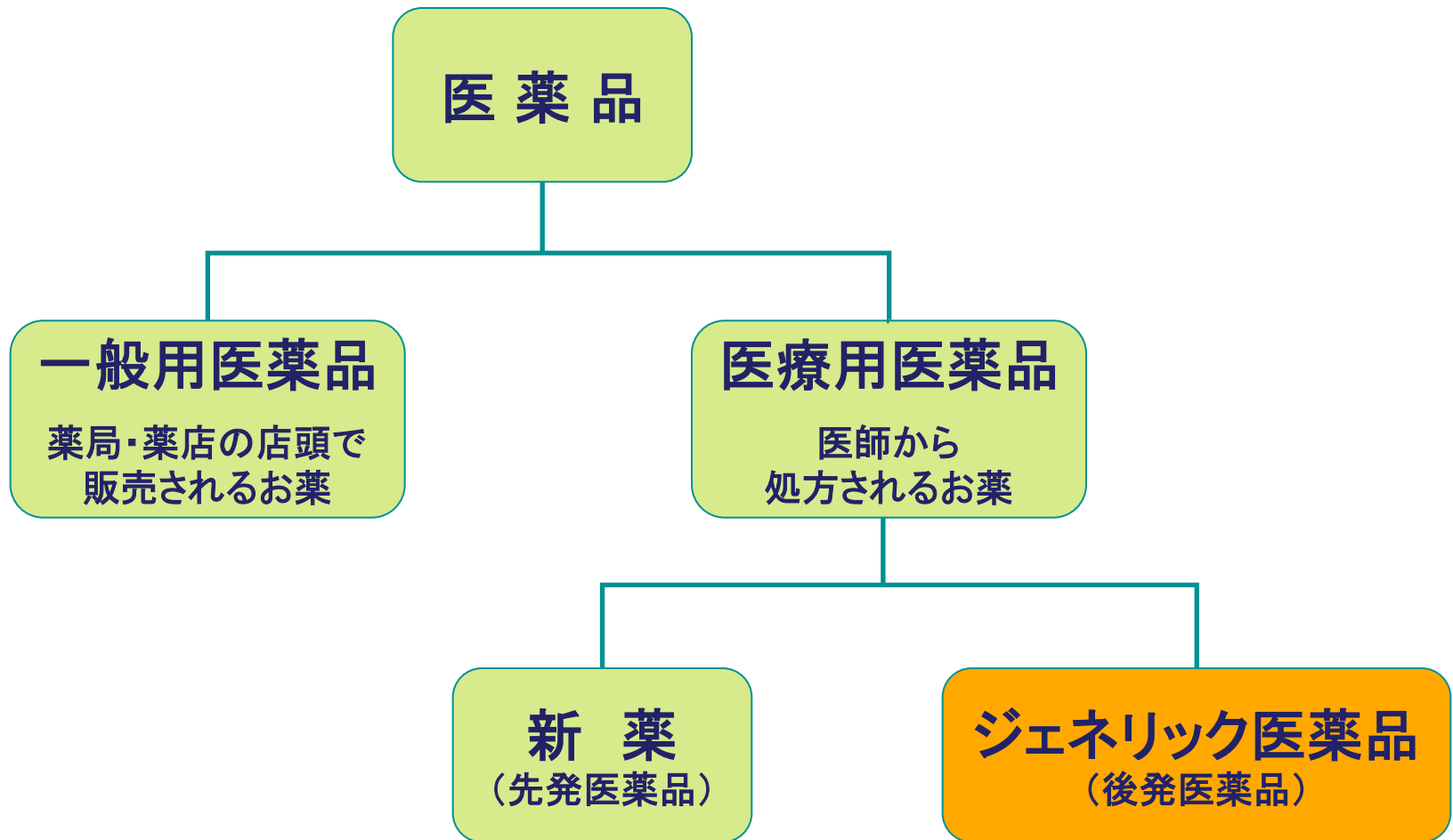
ジェネリック医薬品とは

お医者さんでもらうお薬（医療用医薬品）に、
同じ成分、同じ効き目で、
高い薬と安い薬があるのはご存じですか？



新薬の特許期間が満了し、
有効性と安全性が
確かめられたのちに
売り出される医薬品が
ジェネリック医薬品です。

医薬品の分類

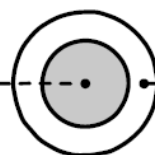
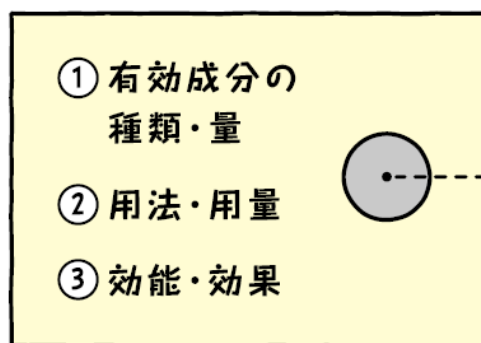


どこが同じ？どこが違う？

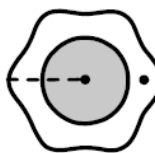
- ①同じ有効成分が一錠の中に同じ量含まれる。
- ②同じ用法・用量(のみ方と錠数)で用いる。
- ③同じ効能・効果を発揮する。

※内服錠の場合

●同じでなければ
いけないところ

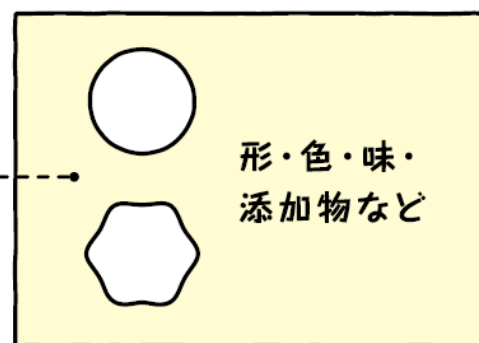


新薬



ジェネリック
医薬品

●製剤工夫できるところ



最新の機械が置かれ、より正確・迅速に薬が製造



ジェネリックが安い理由

ジェネリック医薬品が安い主な理由は、
新薬に比べ**研究開発費が少なくてすむ**からです。

	開発成功率	開発費用	開発期間
新 薬	1/10,000以下	150～200億円 以上	15～20年
ジェネリック 医薬品	非常に高い	数千万～1億円	3～4年

おくすり手帳とは？

- お薬手帳とは、これまで使用された薬について記録する手帳です。



The image shows the inside of a Japanese medicine diary. It is divided into two columns by a vertical line. At the top, there are two red headers: 'くすりは正しく使いましょう' (Let's use medicine correctly) on the left and 'くすりは正しく使いましょう' (Let's use medicine correctly) on the right. Below these, there are two columns with the title 'おくすり' (Medicine). The left column contains patient information: '年月日' (Year, Month, Day) with '20.6.5' written in; '労働者健康福祉機構 山陰労災病院' (Laborer Health and Welfare Organization, San'in Labor Disaster Hospital); 'TEL: 0859-33-8181' (Tel: 0859-33-8181); '患者番号: [redacted]' (Patient Number: [redacted]); '診療科: 内科' (Department: Internal Medicine); '医師名: [redacted]' (Doctor's Name: [redacted]); '薬品名 / 用法' (Medicine Name / Usage) with 'P/L 顆粒 (1g/包)' (P/L Granules (1g/packet)), 'フロモックス錠 100mg' (Flomoxone Tablets 100mg), '分3 毎食後' (Divided into 3 parts, after each meal), 'カロナール錠 200mg' (Caronal Tablets 200mg), '発熱時 1日3回まで' (When feverish, up to 3 times a day), 'インジナール 7% (30mL/本)' (Indinavir 7% (30mL/bottle)), and '1日数回 うがいする' (Several times a day, gargle). The right column is mostly blank with a red circular stamp. At the bottom, there are two small numbers: '- 11 -' on the left and '- 12 -' on the right.

おくすり手帳の利点

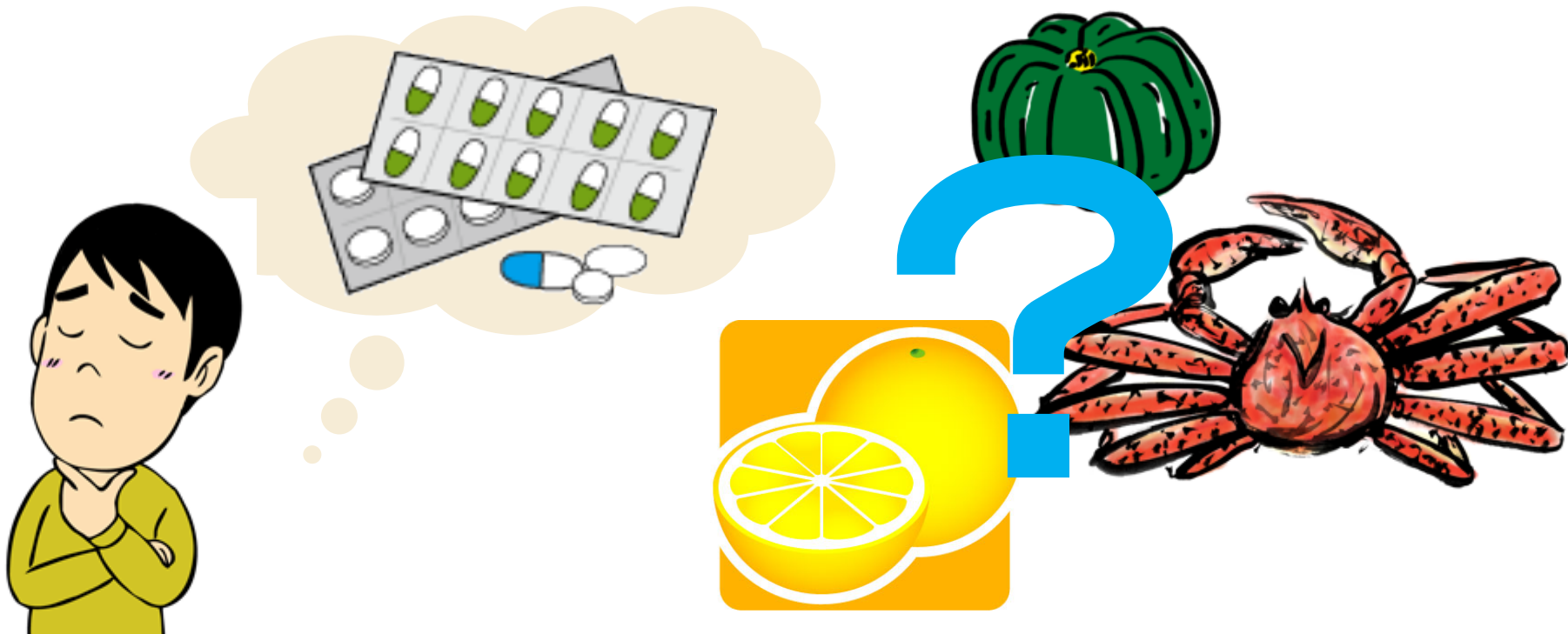
- アレルギー・副作用の確認・回避ができる
- 薬の重複を防ぐ
- 薬の飲み合わせの確認ができる
- 急に薬が必要になった時や、災害時でも服用中の薬がわかる



など

薬の飲み合わせ

「薬の飲み合わせ」は、薬どうしはもちろん食べ物や飲み物との組み合わせにも注意を払う必要があります。



- 含まれる成分によっては、薬の効き目を必要以上に強めてしまい思わぬ副作用がでてしまったり、逆に弱めてしまうことであまり薬が効かなくなってしまうことがあります。

わからないことや
不安なことがあったら
相談してください！